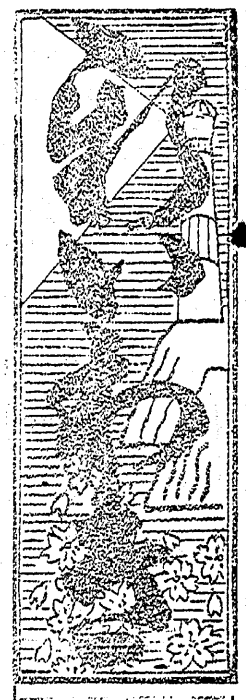
四月二十一日　夕刊

休日　日曜　祭日
月　二十五錢
郵税十五錢　部二錢
廣告料一行四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社



鄉軍と國防會主催
軍都千葉の見學團
來月六日平發二泊三日の旅程
申込み二百名を突破せん

平町在鄉軍人分會と同町國防研究會では時節柄軍事思想の普及に軍都見學の團体旅行を計畫し適々郡内赤井村出身の若松大佐が千葉騎兵十六聯隊長にあるを好機とし町軍人分會から見學の便宜指導を請ふべく照會中であつたが若松大佐も右計畫を歡ばれて迎ひられる旨左記の旅程を添えて申越されたので愈よ來月六日午前七時三十七分平驛發二泊三日間の豫定を以て見學をなすことになつたが軍隊見學としては會てない便宜を受ける今回の好機會は希望者を平町のみとするを惜まれ町軍人分會並に國防研究會員及び地方有志の外郡下の鄉軍各分會並に青訓主事、幹部その他纏まるなれば婦人團も差支なしと云ふ範圍で最低百名の團体を見込み希望者を募つてゐるが郡部の申込みも少なくないらしく或は二百名を超えるのでないかと云はれてゐる

五月六日朝平驛發大浦下車自動車で鹿島神宮へ參詣引返して潮來泊◇第二日（七日）香取參拜佐原驛乘車四街道下車下志津砲兵學校及び飛行學校見學後自動車で千葉市着泊◇第三日（八日）午前中歩兵學校及び氣球隊を見てガソリンカーで津田沼驛へ同地習志野騎兵學校及び戰車隊見學後京成電車で東京へ上野解散（東京に所用なき者は午後七時上野發で歸郡、所用あるは國防博覽會その他任意參觀）

石城地方の春蠶は
前年より一割減掃
絲價から見る繭値は廿五掛精々
掃立盛期は十五日前後か

石城地方は春蠶期を差控いて依然たる糸況の不振に養蠶當業を惑はしてゐるが糸價の先他は各方面から見て悲觀材料が多い爲め到底好相場は豫想されず現在の五百五十四往來に基算して引合ふ程度の飼育が最も安全だと云ふ結果として自桑自給、自家勞力の範圍に於て良繭を生産しやうとする一般の氣持が昨年に比して約一割の減掃かと見られてゐる、掃立の時期は氣候が近年にたく遲れた形樂で桑の發育も甚だしく進まず向後急激な暖氣でも來ない限りは早掃のもので五月十日頃から十五日前後が盛掃期だらうと云はれてゐる、春繭の見込み相場は現在のところ前期の糸價を目標とされてゐるので精々二十五掛十貫目二十八圓乃至三十圓が上の口でないかと見られてゐる

參觀者一千五百人
平局の遞信記念日
興味がられた電信の模擬通信

通信事業が本年度から特別會計制度になつた遞信省に於ける昨二十日の記念日は平郵便局に於ても廳舍内に事業統計その他を掲示する外數種の催しで午前九時から午後三時まで一般の參觀を迎ひ電話交換の實況等說明者を添えて案内したが當日の參觀者は學女生並に職員を初め櫻樹旁々來平した近郊の人々から鐵道關係者それに地元四丁目附近の家族同伴者など千五百名を算し局内の賑やかさは午後四時まで續いたが一般に興味視されたものは電信の模擬通信で自分の打つた電報を受けて次の席から受取るもの及び郵便年金の加入者と否加入者の將來を人形で飾つたものなども相當の人氣ものであつた

常識講座

今と昔ではテンポが違ふなどゝ云ふテンポは歴時の度のことで即ち時代の動きの程度が違ふと云ふことだが音樂用語に使はれる場合は樂曲進行のタイム、柏子の緩急の程度を指す

石城郡の納税美談
亡父の遺言を守る
平窪村中塩の吉田甚一氏

平税務署が財務主任會に諮り納税美談の小册子編纂を目論まれてゐることは既報したが石城郡平窪村の中廻字油澤二吉田甚一氏を其の一人に撰まれてゐる同氏の父は甚左エ門と稱し小農に育ちてより學を好み平藩の學者神林氏につきて漢學と非道を修め明治廿六年から卅年まで福島監獄に看守を勤め其の後家事都合で職を退いたが之れより先き明治廿三年火災に罹りて住家並に倉庫を燒失して後一層貧苦に陷りたる家運の挽回に大正九年息甚一に家計を任せて平税務署の小使となり勞を厭はぬ勤勉が署内の賞め者とされ漸次負債を片付て現在中農の資産に築き上げられたが昭和五年四月病氣のため税務署を退いて同八月病革まるや左記の家憲を遺して病床の前に掲げしめて長逝した其の後甚一氏は亡父の意を体し完納を實行未だ滯納せることなしと云ふ

吉田家平素心得ふべき六行
納税の義務を怠るべからず
朝起すること　家内樂しく
働くこと　物を粗末にせざること　火の元に用心すること
人に迷惑をかけざること

私有地を提供して
萬靈納骨堂を建設
赤井村田久彌七氏の佛心で
無緣佛の爲め今秋頃迄に

石城郡赤井村の田久彌七氏が村内炭鑛勞働者等の死後に永く弔はれざるものあるを見て深く佛心を起し單に村内と云はず石城地方に於けるこの種の諸靈を乘佛させやう念願から所有する同村大字三島字上川原地内の百三十坪を提供して壯嚴なる納骨堂を建設せんとする計畫は去る昭和七年秋正式に本縣知事の許可を得て右發心の達成に奔走中であるが本年秋頃までには建立されるらしく堂の境内となる前記の上川原は赤井及び上下小川村の中央に位置する夏井川に面した光風地で會て同氏が私設公園を目論んだことのある清淨な場所でもあり落成する萬靈廟は眞に無緣佛を慰むるに足る見事なものとなるであらうと

居並ぶ九十の女給
うらめしや春の稼ぎ
物好き屋が想像する世話勘定
なる程ネでも隨分だワ

平公園の櫻花五分咲の見頃と今土曜から明日曜にかけての人出は近年にない賑はひを見込まれてゐたが憐らしい朝からの降雨は遊山の人々を落膽させた上に中にも氣の毒なものは全盛を期待してタンマリと仕込みを入れた公園賣店その他、料理店並に洋食屋の類であつた殊に近邊の平町で慘めなものは旺盛のころ三十數軒を數へられたカフエーの寂れ方で營業の不振に漸減した現在は二十四軒に下つたが内容の豊かなものは極めて少なく此の悲運を盛り返す唯一の目標に置いた大切のお花期が斯んな事では遣り切れないとこぼされるのも道理、物好きの語る推算では上の口で一日二十圓乃至三十圓低いところでは此の書き入れ時にまだ五六圓程度と云ふのがある之れをザツと平均した收入が一戸當り金十圓也で女給の數はと云へば警察の登簿人員約六十名に遊軍が三十名合せて九十名には上るだらう此頭數に前記の總收入二百四十圓を割當てると一日二圓五十錢と云ふ稼高に過ぎない成る程これでは儲けどころでなく元もなくなる筈だと骨かれてゐる

縣農石城分場の
特別農事傳習

縣農試石城分場に於ける特別農事傳習會は來る二十八日午前八時から同場講義室に於て開催されるが今回は春播蔬菜に就て矢ケ崎同場技手の講演であると

表彰された
農會功勞者

今日國休事務所で

石城郡農會に於ける中堅農民講習生の入所式は今二十一日午前十時平町國休事務所樓上に於て行はれたが農會では當日役職員及び各町村農會長の列席あるを好機として農事の改善發達に盡された左記に對し各青銅火鉢一個を添えて表彰した

平農會々計大河原金之助
平窪農會書記關場和一　同
小野清　豊間農會長鈴木藤治郎　同副會長山野邊茂五郎　四倉農會長新妻盛　同會計遠藤安次郎　鹿島農會々計高萩三郎　高久農會長本馬武　同書記猪狩久男
渡邊同會計橋本勳　同書記岡部宗平　下小川組合村農會長白井菊造　同書記櫛田政松　好間村同鈴木榮一
同書記鈴木轍彌　内郷農會幹事齋藤彌一　同書記野木安吉　飯野同森山豊次　同副會長鮏崎才三郎　湯本同副會長坂本左内　小名濱副會長長瀬金右衛門　同書記長瀬國三郎（以上）

鎌田川両側に東
部電の大鐵柱

東部電では今回夏井川を越える架線に對し間隔六十間を置いて平町字鎌田の両側に高六十尺餘の電柱を建設の筈で鎌田橋下の河中假作業開始につき平土木監督所の諒を求めたが請負者は三井物産巴組工事部である

支部長と指導員
協議會

濱三郡木炭同業組合では明二十二日午前十一時から平町同組合事務所に支部長並に指導員の協議會をなす筈だが午後一時から松ケ岡公園に觀櫻會を催すと

港工の災害調査

石城、双葉の八年度港灣工事中に於て災害を受けた實地調査のため去る十九日農林省嘱託吉成正臣氏は本縣土木課の山口技師並に猪股屬の案内で來平昨二十日までに小名濱その他を調査したが今二十一日は豊間から双葉郡久の濱の調査に移る筈であると

電話特別開通の
申込み受付

平郵便局では來る五月一日から同十五日まで本年度の電話特別開通申込みを受付けることゝなつたが設備費は昨年に同じく二百四十圓、加入登記料十圓で既に申込み登記を有してゐるものほ新たに登記料の要らぬことは云ふ迄もないが設備費は二回に分納する便宜もあり加入申込み登記を有するものが申込權を讓渡することも認められると

トラツクで追はれる
自轉車泥

石城郡好間村の中好間生れ元炭鑛坑夫小野五郎（三三）は窃盗前科一犯の男だが今二十一日午前二時頃郡内豊間村のカフエー軒下に於て自轉車一台を窃取し同所を乘逃げし江名方面に向いたのを被害者のためトラツクで追跡され途に江名濱駐在所前に至り追ひ詰められ駐在巡査に取押へられ目下平署の取調べ中である

農業

菜種の栽培

（1）農事本場　瀬古生

◇菜種、菜種にあたつては米麥等も充分な注意を拂はなければ異品種との混合をまぬかれず、品種が不純、劣惡化するものであるが菜種の株種に際しては米、麥に於けるときよりも更に一段と周到な用意と嚴密な注意を要する、菜種の種子は小粒、圓形であるから、多數品種を取扱ふ場合は莚、篩、唐箕等の收穫、調製、器具等に挾さまり異品種との混かうが起りやすい、

更に米、麥と比較して採種の困難なる點は菜種のみに限らず『あぶら菜屬』作物は自家授精が割合に困難であつて自然交雜をし易い點である、限ち自然狀態に放置して開花、結實させると昆虫類により或は風その他の原因によつて花粉が飛散媒介されて他品種と交雜して其の品種が不純になる虞れが多い、之れを防ぐために特別に管理をして袋掛なり、網枠掛なりを行へば純粹な種子を得ることができるが此の操作及び設備は相當に面倒なものである、加之これらの操作設備をすれば結實する種子の量が甚だしく少くなる場合があり、又充分に純粹でない品種に此の操作を行ふ場合、株種株の撰定を誤まれば翌年度は生育不良のものが生ずる虞れなしとしない、又優良な品種を年々袋掛等を行つて純粹に種子を採つて數代を重ねると或は其の品種の勢力が漸次衰へて收量の減退等實用的に不良の結實を招きはせぬかと云ふ疑問の點もあつて菜種の採種問題はこれから益々研究しなければならぬことが多い、

慢性の品良優も豚も牛
肉の御用命は　三三屋　平町田町

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

需應院入
紺屋町　藤沼醫院　平町
電話五〇七番

内科、小兒科
入院…… 需應……
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

クロネコ　跡に開業
きね壽司と…洋食
カフエー天地
從來の通り御愛顧を御願ひ致します
電話679

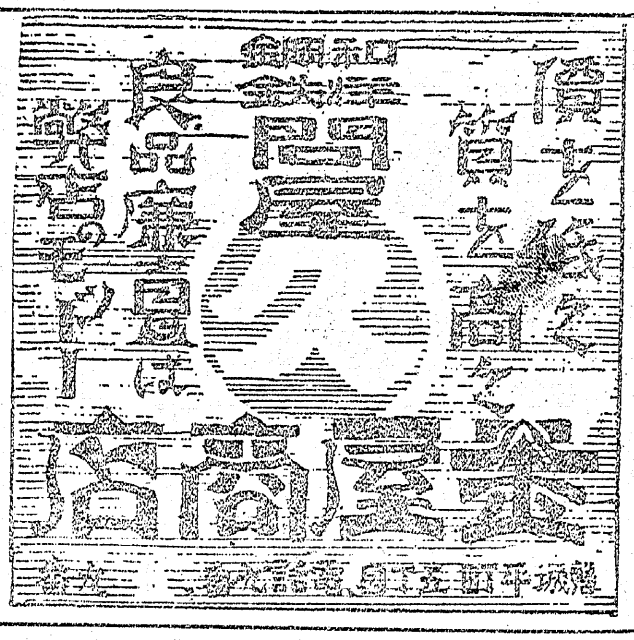
公園が花でかざれば
カフエー松ケ岡は
女給でかざる
料理自慢のうでに【ヨリ】をかけた店主が營業の責任を引受ました
また花よりダンゴと云ふこともある
一品卅五錢以上は斷じて戴きません
御披露として向ふ一週間は一品に付五錢づゝ割引いたします
カフエー松ケ岡
研町通り公園入口　電話【呼出】四四三番

洋式宴會の仕出し
五人樣以上の御注文にはボーイもコックも出張しまして弊店へ御來店御會食と何等變りなくサービス致します
出前は迅速に
平常の一品料理の出前は遠近に拘はらず迅速に御届け致します、ドーン御最負を……
美味で……評判の……
イワキ　サロン
平田町　電話三五二番

産婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町　電話五一三番
高久病院
院長　醫學士　高久忠

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　平町二丁目　關内正一　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎


婦人科
産科
内科
外科
皮膚科
泌尿器科
花柳病科
耳鼻咽喉科
眼科
小兒科
皮膚科
性病科
X線
光線療法科
試驗所
藥劑師
藥局
藥剤師
醫學博士
醫學士
醫學士
醫學